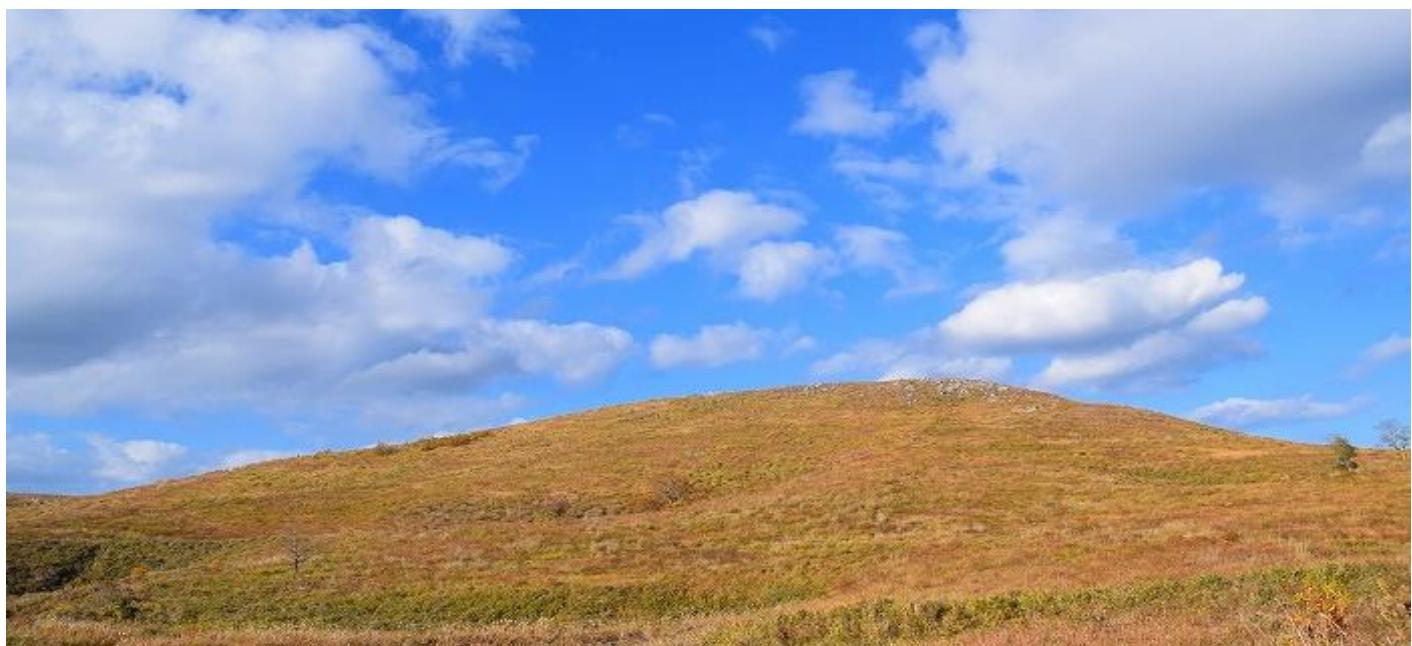


[ポリエ]とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいに建っています。

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX: 08396-2-2622
E-mail : akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP : <http://www.c-able.ne.jp/mitou-14/>

秋吉台 カメムシ伝説？だと今冬は大雪かも

最近カメムシが大量発生。近年にない異常なほどです。窓ガラスはもとより自動ドアの内側にも入り込んでいます。アルミサッシのほんの狭い隙間からでも侵入するようです。あの何ともいえない生臭い臭いを噴射しなければ少しさは可愛いのですが…。地元ではカメムシのことをホウジといい、大量発生するとその冬は大雪になるといわれています。覚悟して冬季対策です。秋吉台も冬を迎える準備です。草原は枯れ草におおわれています。草紅葉はまだのようです。地元の「カメムシ伝説？」では大雪とのことです。ということは、雪に覆われた「白銀の秋吉台」を見ることができるかも、と期待。 (写真は11月30日の北山のようす)



季節の花 今年はリンドウの花ざかい～～

リンドウ 日当たりの良い草原に生えるリンドウ科の多年草。晩秋の頃、青紫色の花を咲かせます。稀にピンク色の花を見かけます。白花もあるそうですが、まだ見たことがありません。花は天気の良い日に開き曇りや雨の日は閉じたままです。

ツルグミ 林縁に生えるツル性の常緑低木。ツル性といつても木のように堅いツルです。花は茶褐色の斑点のある細い筒状で下向きに咲きます。秋吉台ではあまり見かけません、というよりも気づかないかもしれません。

キックウハグマ 林縁ややや湿ったところに生えるキク科の多年草。草丈は5cmほどから30cm近くなることもあります。約1cmの小さくて白い花を咲かせます。風車のようで可愛いです。全体に細くて華奢な感じで、写真撮影は難しい方です。



「美東ゴボウの収穫体験」 おいしいゴボウが育つ理由

体験学習「美東ゴボウの収穫体験」を11月8日に行いました。秋晴れの下、はじめに農家の堀田さんからゴボウの抜き取り方の説明を受けて、早速作業開始。重機で掘った細長く深い溝のような穴に入って、その両側に並んだように見えるゴボウを手で抜き取って収穫します。子どもたちは自分の肩ほどもある深い穴の中でゴボウを引き抜きます。長いゴボウを手にして充実の達成感。秋吉台特有の土壌で育った「美東ゴボウ」は柔らかく香りがよくきめ細やかで抜群の美味。殊に自分で掘ったゴボウの味は格別でしょう。



観察会「冬眠中のコウモリを見る」（11月30日）

コウモリの観察会を行いました。日頃は施錠している大きな洞窟に入ると、奥の方には天井や低い所で眠っているコウモリがたくさんいました。別の洞窟では、子供たちが高い天井の岩の隙間の白っぽいコウモリを見つけました。よく見えないので急きよ脚立を運び込んで上から確認しました。これはノレンコウモリで、この時期に見つかるのは大変珍しいとのことです。今日の観察会では、モモジロコウモリ、キクガシラコウモリ、ユビナガコウモリ、ノレンコウモリの4種類を観察しました。



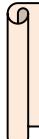
ススキ あのススキも猛暑は苦手？！

秋吉台はススキの名所として、2018年の「なんでもランキング」で国内で第7位に選ばれたことがあります。それが今年は新しいススキの穂がほとんどありません。目立つのは昨年の茎だけです。葉も茶褐色となり全体に元気はありません。日頃は気にしないススキも、他の花が終わってしまった晩秋は、昼間はもちろん、夕陽に映えて銀色に輝くススキの草原は幻想的でもあります。今年はそれを見ることができなくて残念です。これも猛暑の影響でしょうか。

（写真は11月27日長者ヶ森付近のようす）



12月の行事



12月14日(日) 体験学習「クリスマスリース作り」

いろいろな材料を使ってクリスマスリースを作りましょう。